

政府・日銀の為替介入について

かねてから為替介入の必要性が訴えられていたにもかかわらず、今回の対応は遅きに失した感がある。また、国際的な協調体制が整わない中での単独介入では、十分な効果があるとは思えない。必要な時には、再介入も期待したい。

今、まさに民主党の政権担当能力が問われている中で、わが国のリーダーである菅首相が、国内外に向けて、デフレ脱却と自律的な経済回復に向けた断固たる決意を発信することが、市場への緊急のアナウンス効果となることを期待したい。引き続き市場動向を注視しつつ、政府・日銀の協調のもと、金融・経済政策などを前倒しで実行されることを要望したい。

以上

平成 22 年 9 月 15 日
京都商工会議所
会頭 立石 義雄